

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme
EXPRESS--

MFJ Superbike Round4 SUPERBIKE RACE in SUGO 28-29 August 2010



ラストアタックで魅せた 伊藤 真一

**QUALIFYING
PRACTICE & RACE**
OFFICIAL RESULTS
REPORT & INTERVIEW

伊藤真一が最高の形でポールポジション獲得! ホームコースでの勝利を誓う V3を狙う中須賀も虎視眈々と勝利をうかがう



QUALIFYING PRACTICE
REPORT&INTERVIEW

3カ月のインターバル明けで迎えた全日本ロードレース選手権第4戦スポーツランドSUGO。いよいよ、ここからがタイトル争いが本格化する。ノックアウト方式で争われた公式予選は、快晴に恵まれ、残暑の厳しい中でのタイムアタックとなった。

ハイレベルな戦いとなったJSB1000クラスの予選は、4人がコースレコードを更新。その中でトップタイムを記録したのは、地元の期待を一身に受ける伊藤真一だった。

「ここ数年、SUGOではいい結果を残すことができていないし、今年は(ケガもあって)思いきりタイムアタックできていなかったの、昔に戻ってリスクがあっても攻めの走りをしようと思った。ただ事前テストから、チームの頑張りもあって、マシンはいい調子だったし、今回の予選は勢いで走ろうと思っていた」という伊藤がQ3の最後のアタックで鮮やかなポールポジションを獲得した。

伊藤は、開幕戦でスタート直後に転倒、第2戦では予選でアクシデントに遭い右肩甲骨を骨折、完治せずに臨んだ第3戦で予選6番手に入るが、決勝は中止と全くレースができていなかった。鈴鹿8耐で調子を上げ、8月上旬にSUGOで行われた合同テストでマシン、身体の状態ともに完璧に近い状態になってきていた。同時にライディングの「クレ」も戻ってきていた。今回のレースウィークに入っても予選までは最高の形できている。

「変に気負わず自然体で臨んでいますね。手応えもありますし、8耐では優勝できなかったの、今回のSUGOは、ぜひ優勝したいですね」と小原斉監督も自信のコメント。

2番手には事前テストなしで臨んでいる秋吉耕佑がつけた。「ベストタイムが出た、前の周の方が速

かったんだけど、シケイン立ち上がりでハイサイドで遅れてしまった。まあ、ハイサイドするマシンの状態だったんでしょ」とサバサバ。金曜日からスタートし、1セッション毎に1秒詰めてくるのは、さすが草駄天男だ。

3年連続チャンピオンを狙う中須賀克行は、真っ先に1分27秒台をマークし、3番手に着けた。

「自己ベストが出ているし自分自身ではノレていると思う。伊藤さんの調子がよく、タイム的にも少し遅れていますが勝負していきたいですね」と中須賀。2008年と2009年とタイトルを争う上で、ターニングポイントとも言えるレースが、このSUGOラウンドだけに、今回も重要な一戦になるだろう。

コースレコードホルダーだった亀谷長純はQ3で履いた新品タイヤとマシンの相性が悪く1分28秒を切れなかったが、アベレージは問題ないようだ。柳川明も1分28秒台で走れているだけにトップ争いに絡んできそうだ。

JSB1000クラスと混走で行われているJ-GP2クラスはST600クラスとダブルエントリーしている山口辰也が、ただ一人、1分31秒台に入れたトップタイム。決勝も一人旅となりそう。激戦のST600クラスと共にダブルウインの可能性が高くなっている。

好調の伊藤がスタートを決めてレースを引っ張る展開になれば独走となる可能性もあるだろう。これを阻止すべく中須賀が序盤で前に出てレースをコントロールできれば混戦になるかもしれない。トップ争いは伊藤と中須賀を中心に、秋吉、亀谷、柳川の最大5台の集団になる可能性が高い。ここから抜け出すのは伊藤か!? 中須賀か!? それとも??

[佐藤 寿宏]



Pole Position 伊藤 真一 1'27.523

「8月の事前テストで調子がよかったですので、レースウィークに入ってもセッティングをあまり変えずに初心に戻って、多少リスクを負ってもかまわないと勢いで走りました。決勝は秋吉選手と中須賀選手、あと何人かとの争いになると思いますが、1分28秒前半で走って優勝を目指したいと思います。今後も、もしかしたらスポーツ参戦や他のクラスに乗る可能性もありますし、来年以降のことはまだ分からないのですが、JSB1000クラスでトップを狙ってSUGOを走れるのは最後だと思うので、悔いが残らないように勝ちたいですね」



山口辰也、J-GP2でもトップタイム!!

Top Time 山口 辰也 1'31.840



ST600クラスとJ-GP2クラスにダブルエントリーしている山口辰也。今年のチーム体制で2レースをこなすのは初めてのことになる。山口と、山口を支えるチームのスタッフが未知の領域にチャレンジする。



事前テスト無しで臨んだ秋吉耕佑がセカンドグリッド



3連覇を狙う中須賀克行。3番手からどんなスタートを見せるのか

第1回superbike.jpアンケート

●期間: 2010年8月30日(月)0:00~
9月28日(火)23:59まで

全日本ロードレースをもっともっとお楽しみいただけるように、是非ご協力をお願いします!

superbike.jpでは、全日本ロードレースをもっともっとお楽しみいただけるようにアンケートを実施します。回答者全員にオリジナル壁紙をプレゼントするほか、抽選でペア10組20名様に2011年全日本ロードレース入場券などをプレゼント!!。是非アンケートにご協力をお願いします。詳細は、MFJスーパーバイク公式ファンサイト「superbike.jp」のトップページからご利用ください。なお、今回のアンケートはパソコンからの回答のみとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。



<http://www.superbike.jp/>

SUGO選手権第5戦ST600 決勝レース公式結果

Pos	No	Rider	Team	Time
1	57	田中 裕太	TEAM GRACE	19'17.374
2	18	中澤 孝之	BOON! Companion! & DFR	19'37.418
3	75	鈴木 明	CLUB-ARA虎の穴	19'48.473
4	16	石塚 尚志	Active-Rainbow	19'54.995
5	34	倉山 寿生	3 can do! & DREAM狭山	19'55.313
6	21	武田 誠	奥州レーシング	19'55.718
7	65	住吉 浩規	いつものピット	19'55.788
8	92	田中 真	スコードロン湘南RT	20'12.620
9	14	早津 洋	RS-OKUNO・サイクルスポーツ	20'14.160
10	27	瀬川 雄一郎	ホンダコウカイドリームレーシングチーム	20'21.783

※上位10位までを掲載しています。

REPORT&INTERVIEW



28日(土)のGP-MONO決勝レースで表彰台に上がった3人。今季初優勝の藤井 謙汰(中央)、最後までトップを争った2位の小室旭(左)、3位の谷川 壮洋

GP-MONO ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

- 予選・決勝開催日/8月28日(土)
- 天候・路面/予選・決勝(晴/ドライ)
- 決勝レース/15周

RACE REPORT REPORT&INTERVIEW

藤井謙汰が小室旭と の一騎打ちを制して 今シーズン初優勝!!



絶妙なスタートでホールショットを決めたのは藤井謙汰。小室旭と谷川壮洋、坪川浩明がトップグループを形成していたが、3周目のシケインで坪川が転倒リタイアとなる。このあとトップ争いは谷川が遅れ、藤井と小室の一騎打ちとなり、序盤は抜きつ抜かれつ展開。「お互いのバイクのどこが速いのかを確認し最後に仕掛けようと思っていた」という小室はレース後半には藤井の背後でチャンスをうかがっていたが、最終ラップで痛恨のミス。これで勝敗が決まり、藤井が今シーズン初の優勝をもち取った。0.7秒差で小室が2位。独走でチェッカーを受けた谷川壮洋が3戦連続3位表彰台に上がった。

4位には10番手から追いついた森田直樹、伊藤公一が僅差で続いた。

WINNER

優勝/藤井 謙汰

「1周目からいけると思っていました。途中でちょっとミスをしてベースが落ちたときに(小室選手に)抜かれなかったのが、そのままのペースで走ることになり切りました。GP-MONOでは勝てそうで勝てない悔しい思いをしていたので、約2年ぶりに勝ててすごくうれしいです。まだレース(J-GP3)が残っているので、早くホテルに帰って休めます(笑)。テストでは自己ベストに3秒も届かないような状態で、予選でようやくタイムが上がってきたので、(J-GP3)の決勝では追いつきを見て欲しいですね」

山口辰也、レコードを 更新し、今季初の ポールポジション!



Pole Position

山口 辰也

1'31.750

「タイム的には、もう少し縮めたかったですね。J-GP2、ST600と同じ仕様のバイク、J-GP2ではスリックタイヤを使わず、溝付きタイヤで走っているので、同じようなタイムしか出ませんでした。J-GP2のセッションがST600より長かったため、セッティングが詰められたので、いい状態になっています。ST600は、他メーカーに比べてストレートスピードで8km/hぐらい遅れているので厳しいレースになりましたので、何とか前でゴールできるように頑張ります」

山本剛大が2戦連続 ポールポジションを ゲット!



Pole Position

山本 剛大

1'35.660

「今日は事前テストのときよりコンディションもよくて走りやすかったですね。タイムを出したのは中盤でしたが、後半のアタックでタイムを出せなかったのが悔しいです。目標タイムの1分34秒には届かなかったので決勝では出したいと思います。コースに出た直後は、うまく集中力を保てなくて、2、3周してからは集中できたんですけど、そこからは待っている人やペースの違う人に引かれてしまっ、なかなかアタックできませんでした。オートボリスでポールポジションを取ったけれど(荒天で)決勝がなくなってしまったので、今回も絶対ポールポジションからスタートしようという気持ちが強かった。(ポールポジションを取って)すごくうれしいです」

アジア国別対抗ロードレース開催 日本代表に熱い声援を!!

アジア各国のモーターサイクルスポーツのレベルが向上と国際交流を目的として開催されているアジア国別対抗ロードレース「アジアネイションズ・オブ・ロードレース」。

アジアモーターサイクルユニオン(UAM)に加盟するアジア各国から2名ずつの代表ライダーが参戦し、その順位をもとにポイントが付けられ勝利国が決定されます。車両・タイヤがワンメイクのため、ライダーの腕が勝敗を左右します。

今回の日本大会には、中木亮輔・北見剣の2選手が参戦!! みなさん日本代表チームに熱い声援をお願いします!

UAM Asian Cup

決勝レース1 結果

Pos	No	Rider	Team	Time
1	1	Topan Sucipto	Team INDONESIA	23'20.770
2	12	Pongpeera	Team THAILAND	23'26.320
3	2	Mohammad Dwi Satria	Team INDONESIA	23'26.334
4	4	Ryosuke Nakaki	Team JAPAN	23'26.367
5	6	Jagan Kumar	Team INDIA	23'26.412
6	3	Tsurugi Kitami	Team JAPAN	23'26.426
7	5	Sharath Kumar Shankar	Team INDIA	23'26.461
8	11	Jakkrit Swangwat	Team THAILAND	23'26.616
9	14	Yu Chun Ho	Team Hong Kong	24'08.696
10	8	Cheng Yu Tsai	Team CHINESE TAIPEI	24'14.153

※上位10位までを掲載しています。



接戦のバトルがコース幅一杯を使って展開されるUAM



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走30台
●決勝スタート/13:55(25周)

Table with columns: Pos, No., Cls., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for JSB 1000 class.

----- 以上第3セッションにて決定 -----

Table with columns: Pos, No., Cls., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for JSB 1000 class (continued).

----- 以上第2セッションにて決定 -----

Table with columns: Pos, No., Cls., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for JSB 1000 class (continued).

----- 以上第1セッションにて決定 -----

37 JSB 喜多田学 TS関東+南成田総合サービス CBR1000RR リタイア
参加台数:31台 出走台数:30台
予選通過基準タイム(総合:110%) 1'37.339
※ Rマークは、コースレコード(従来のタイム 1'27.827)



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走29台
●決勝スタート/10:25(18周)

Table with columns: Pos, No., Cls., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for J-GP3 class.

----- 以上予選通過 -----

参加台数:29台 出走台数:29台
予選通過基準タイム(総合:110%) 1'45.226



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走44台
●決勝スタート/11:30(20周)

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for ST 600 class.

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for ST 600 class (continued).

----- 以上予選通過 -----

Table with columns: Pos, No., Name, Team, Machine, BestTime. Lists race results for ST 600 class (continued).

参加台数:48台 出走台数:44台
予選通過基準タイム(110%) 1'40.925
※ Rマークは、コースレコード(従来のタイム 1'32.193)



決勝結果

●予選:決勝開催日:8/28(土)天候/晴
路面/ドライ 出走24台 決勝レース(15周)

Table with columns: Pos, No, Rider, Team, Machine, Lap, Total Time. Lists final race results for GP-MONO class.

----- 以上完走 -----
48 法月 多嘉夫 MARS&OMEGA&RPベアール MARS KX250F 6 11'27.167
96 田中 聡 パワーパイレーシング PP-YZ250 5 8'46.960
17 坪川 浩明 TEAM-MARGUERITE MD250H 2 3'25.352
参加台数:26台 出走台数:24台 完走台数:21台
ペストラップ:3 藤井 謙汰 1'38.194 14/15 137.025km/h

INFORMATION

SUGO CIRCUIT PASSPORT
サーキットパスポート会員

会員募集中!!
SUGOのビッグレースが観戦しやすくなる「メンバーズカード」が誕生。年会費5,000円ですべてのビッグレース入場が会員価格。通常入園料が無料。西コースでのレンタルカー利用も割引など、サーキットを満喫するメニューがラインアップされています。
詳細は、SUGOホームページで。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

Table with columns: Time, Event, Laps. Lists the race schedule for the day.